

【秋田県立大学『第158回森林科学セミナー』のご案内】

第158回 1月30日(木)16:30~18:00

演題『木の幹から放出するメタン』

演者:森下 智陽(森林総合研究所 東北支所)

場所:秋田県立大学 学部棟Ⅱ 中講義室1(E126教室)

要旨

メタンは、二酸化炭素の次に温暖化への寄与が大きいガスである。一般的に、水田や湿地は、メタンの放出源として知られているが、森林生態系は、土壌が大気からメタンを吸収しているため、メタンの吸収源として考えられてきた。しかし、近年、木の幹からメタンが放出していることが発見され、土壌中で生成したメタンが、樹体内を移動して、幹から放出している可能性が指摘されている。

本セミナーでは、森林生態系におけるメタン動態の概要を解説した後、木の幹から放出するメタンについて、水分条件などの立地環境による違い、樹種による違い、生態系内において幹から放出するメタンの量的な寄与について、これまでに調査を行ってきた岩手県安比高原広葉樹林、アラスカ州クロトウヒ林、エストニア共和国アカマツ湿地林における観測結果から紹介する。

参加自由:来聴大歓迎です!(事前申し込み不要:参加無料)

問い合わせ先:秋田県立大学 生物環境科学科 森林科学研究室
〒010-0195 秋田市下新城野

TEL:018-872-1618(坂田) -1608(星崎) -1619(蒔田)

FAX:018-872-1677

E-mail:sakata@akita-pu.ac.jp

<http://www.akita-pu.ac.jp/bioresource/dbe/forest/>

2020/01/15